

6月後半なのに梅雨入りしませんが、でも雨の季節、急な雨など現場での対策は抜かりなく。

新商連・同共済会定期総会「全員で取り組もう、道は開ける」

6月9日(日)、新潟市にて新商連第61回・新商連共済会第43回定期総会が開かれました。今回は122名の代議員が会場に参加して開催され、長岡民商からは8名が参加しました。

最初に新商連渡部睦夫会長が挨拶し「5月の全商連総会で、全員で取り組もう、定石をやる、そうすれば道は開ける」との発言に力をもたされた。なにか困ったらず民商、行けばだけれどが相手してくれる、みんなが集まって話を聞いてくれる。これが本来の民商の姿。国の活動から中小零細業者が完全に締め出されようとしている厳しい状況の今こそ、会員同士みな集まって話し合おう。仲間ふやしも集金配達も、役員だけ、事務局だけ苦労するのではなく、よく話し合おう、みなで取り組もう」と話がありました。その後県連事務局より運動方針の提起があり、民商の要求運動の基本に「集まって相談しあおう」活動を置く事、全ての民商会員の共済加入を図りたいのちと健康を守る助け合い運動をすすめる事、業者青年に魅力ある民商にする為企画等で県青協・青年部の強化を図る事などが提起されました。

各民商からの活動報告は、記帳や、なんでも相談の支部開催を重視し、会員紹介の入会で「記帳会がよかった」等申告以外の理由が増えた(新潟など)10民商からありました。また長岡民商常任委員の中島竜一さんが新商連青年部協議会副会長として発言し、各民商で青年部の世代交代がすすんでいない、業者青年結集のため地引綱や青年交流会などの企画参加を訴えました。そして役員選挙では、新商連の役員で長岡から常任理事に酒井光男会長(再任)と中島竜一常任理事・県青協副会長(新任)、理事に角屋健一常任理事(再任)と金内直樹事務局長(再任)、会計監査に星野克男合同経理事務所所長(再任)新商連共済会の役員で副理事長に監物忍長岡民商会計・共済会理事長(再任)、常任理事に樋口稔長岡民商共済会常任理事(再任)理事に佐藤敏行長岡民商共済会会計(新任)が選ばれました。

新商連第61回定期総会



△労働保険事務組合のS△

○一般労働保険について、先週、今年度の保険料納入通知書(期別納入日と納付額)をお送りしました。第1期分保険料の口座引落は6月28日です。これまでと同様、飲食業や製造・サービス業の方は雇用・労災の両方の保険で1枚の納入通知(事務所の労災加入の方は2枚)、建設業の方は雇用と労災で2枚の納入通知が送られています。記載された金額の合計が皆様指定の口座から引落されますので、ご確認の上、引落までに口座に必要分の保険料等をご用意ください。

○一人親方労働保険についても、保険料の納入通知書(期別納入日と納付額)を封書で通知致しましたので、期日までに添付の振込用紙にて振込をお願いいたします。

△上半期源泉所得税 相談会△ 予約必要

源泉所得税を半年分まとめて納める「納期特例」の事業所を対象に、相談会を行います。今年1月から6月までに従業員に支払った給与・賞与の金額が分かる資料(賃金台帳等)をご用意の上おいで下さい。

日時 7月8日(月)・9日(火)
いずれも10時～12時 及び
13時30分～16時

事前に必ず電話で時間を予約の上、お越し下さい。小国支部は、7月5日(金)14時より片桐支部長宅で行います。折り返みの支部チラシもご覧下さい。

△長岡民主商工会 第62回定期総会△

会員のみならず、ぜひご参加ください。業者同上、話して、飲んで、語り合います。よろしく。

日時 7月7日(日) 午後1時より3時半頃まで

会場 東京閣(柏町2丁目3-11)

※会議終了後に懇親会を行いますのでぜひご参加ください。

懇親会参加費5,500円ですが、民商からの補助500円の他、支部費から参加費をまかなう支部が多いので、詳しくは支部役員にお問い合わせください。